

平成 24 年度第 2 回医療審議会 議事概要

日 時：平成 24 年 9 月 4 日（月） 15:30 ～ 17:00

場 所：滋賀県庁北新館 中会議室

出席委員：柏木委員、笹田委員、笠原委員、小鳥委員、芦田委員、中野委員、富永委員、石橋委員、
本白水委員、今堀委員、三ツ浪委員、宮本委員、近藤委員、山田委員、小林委員、
菊井委員、井上委員、大澤委員、関委員、福井委員

事務局：渡邊健康福祉部長、角野健康福祉部次長、藤本管理監、茂森医務薬務課長、
医療福祉推進課（山本参事、駒井主幹）
医務薬務課（田中参事、大友主幹、高橋主幹、五十嵐主幹）

議事の経過概要

開会宣言：15 時 30 分

あいさつ：渡邊健康福祉部長

会議の成立報告

事務局より、本日の出席者は委員総数 20 人全員の出席があり、滋賀県医療員議会運営要綱第 4 条第 1 項の規定により、会議が有効に成立している旨の報告があった。

報告事項

1. 医療審議会医療法人部会の審議結果について

(1) 部会長および事務局の報告

資料 4 に基づき小鳥部会長から結果の報告、事務局から審議内容について説明があった。

(2) 質疑、意見等

無し

議 事

1. 滋賀県保健医療計画改定にかかる基本的な考え方

(1) 事務局説明

資料 1 に基づき事務局から説明があった。

(2) 質疑、意見等

委 員：保健医療計画で目指す 5 つの姿の中で「全ての年代が健康的な生活を送れている」ことが重要であり、これが崩れた時にあとの 4 つ「医療と福祉が一体」「地域医療福祉の体制整備」「高度専門医療」「住み慣れたところでの在宅療養生活」が必要となってくる。「保健」を第一に見据えて、医療福祉を推進してほしい。前文にでも謳ってほしい。

委 員：富永委員の意見に賛同する。5 頁の「人材の確保・養成」に是非とも保健師を加えていただきたい。

委 員：「精神疾患対策の推進」において「退院可能な入院患者の地域移行と地域定着の支援」と記載があるが、当該記載は全ての疾患に必要なものである。なぜ精神疾患に特化する

るのか。

事務局：保健医療計画で目指す5つの姿については、「地域医療生活を支える」という理念のもとこの表現となった。

「人材の確保・養成」には保健師を入れたい。

精神疾患について、特に問題視しているためこのような表現になった。

委員：医療は福祉の一端である。

委員：高度専門医療の充実だけが医療の質的向上を感じさせるかのような表現は疑問である。プライマリーケアは大切であり、表現の仕方を再考していただきたい。

委員：全ての医療の質の向上が大切である。

委員：5つの姿が書かれているため、これで支障無いと考える。

委員：この表記で支障ないと思う。かかりつけ医は地域を支え、専門医はより高度な医療を支えて、それぞれの分野で頑張ってもらえれば嬉しく感じる。

委員：少しでも誤解を与える文言は避けたほうが良い。

2. 保健医療圏について

(1) 事務局説明

資料2-1、2-2に基づき事務局から説明があった。

(2) 質疑、意見等

委員：湖北、湖西の医療圏設定について意見は無いが、愛荘町の場合、広域消防においては東近江圏域であり、医療圏は湖東と異なる。このことを愛荘町は了解しているのか。

また、周産期については4つの医療圏とあるが、具体的にはどのような医療圏になるのか。

事務局：愛荘町については、この体制で問題ありません。

事務局：県の周産期医療推進協議会で提案されており、「大津・湖西」「湖南・甲賀」「東近江」「湖北・湖東」の4つ。

委員：周産期医療については人材の問題があり、「集中と選択」という方針で行くということ。この4つになった場合、「二次医療圏」という言葉は使うのか。

事務局：「二次医療圏」という言葉は使わない方針で調整する。

委員：愛荘町については、歯科医師会の支部としても現行の状態、医療圏は湖東が支障ない。

委員：特に意見が無ければ「現状の7医療圏で了承」とさせていただきます。

3. 基準病床数について

(1) 事務局説明

資料3に基づき事務局から説明があった。

(2) 質疑、意見等

委員：全体の流れとしては病院の削減だけれども、基準病床を超えているところでも現在の病床数を削減することはあり得ない、という認識でよろしいですね。

事務局：既存病床が基準病床を上回っているからといって、その病床を取り上げるようなことはない。

委員：数値としては示されるが「それに併せて削減を行う」という動きは無いということですね。

4. 全般について

- 委員：目標をどういう形で実現していくかということについて、個別の計画があると思うが、どのように調整して目標に辿り着くような執行計画を立てられるのか。
- 事務局：今年度改訂予定の計画については同時並行で議論を進めており、個別計画のエッセンスをこの計画に反映するよう調整し、齟齬がないよう目標は同じものを掲げていく。
- 委員：高度専門医療の充実は大変重要だと思うが、的確で迅速な診断が必要と思います。そのためにはかかりつけ医の活躍が重要であり、そのところも計画に記載していただきたい。
- 委員：貴重な御意見ありがとうございます。医師会としても頑張っていきたい。今後の審議会でも、御意見をよろしくお願いしたい。

閉会宣言 17時00分